

# 地域資源フル活用飼料増産対策事業

～ 自給飼料の生産拡大に取り組む生産者や飼料生産組織等を支援します ～

防護柵設置による鳥獣被害軽減の取組や作付面積拡大、高栄養粗飼料への転換、受託面積拡大の取組等を支援します。



事業実施主体

- 1 畜産農家の振興を図る目的で設置された市町村や農協、畜産関係団体等で組織する協議会
- 2 3戸以上の生産者集団
- 3 飼料生産組織
- 4 農業協同組合又は農業協同組合連合会
- 5 その他知事が認める団体

## 地域資源フル活用飼料増産対策事業で取り組める主な内容

### 地域の実情に応じた自給飼料増産の取組

・品種選定や収量向上に向けた栽培実証等（補助率：定額）

飼料作物の品種選定による単収向上等、飼料自給率向上に向けた実証



### 飼料生産組織の育成・活動強化対策

・受託等面積拡大への取組（補助率：定額 7,500円/10a）

飼料作物の生産・作業受託について規模拡大を行う取組



・広域活動の取組（補助率：1/2以内）

広域での活動に必要な機器・施設、飼料分析等



### 飼料作物の生産拡大への取組

・野生動物による飼料作物の食害防止（補助率：1/2以内）

飼料作物の野生動物被害を軽減するために必要な防護柵の設置



・飼料用米増産に向けた取組（補助率：1/2以内）

飼料用米機械導入、簡易保管施設設置



・子実用トウモロコシ増産に向けた取組（補助率：定額）

子実用トウモロコシの収量向上に向けた栽培実証



国産濃厚飼料増産

・飼料作物の作付面積拡大（補助率：定額）

事業実施年度に増加した面積に係る経費を助成



※スーダングラス、エンバク等も対象  
※二期作、二期作の場合は、さらに2,000円/10a

草種	単価(/10a)
ソルガム	2,600円
トウモロコシ	3,500円
ローズグラス	2,300円
イタリアンライグラス	2,100円

・高栄養粗飼料への転換面積拡大（補助率：定額）

高栄養粗飼料（トウモロコシ、ソルガム）へ転換した面積に係る経費を助成



草種	単価(/10a)
ソルガム	2,600円
トウモロコシ	3,500円

・高栄養粗飼料への転換に係る作業委託・保管設備整備（補助率：1/2以内）

高栄養粗飼料への転換に係る作業委託助成、保管設備（バンカーサイロ等）整備



高栄養粗飼料への転換

※取組内容によっては、補助上限額が設定されています。詳細は、補助金交付要綱及び実施要領を御確認ください。

### 1 野生動物による食害防止対策

「2 飼料作物の作付面積拡大」又は「3 高栄養粗飼料への転換」の助成と重複可

#### ○高栄養粗飼料への転換

電気柵設置により、これまで鳥獣被害を受ける可能性があるため栽培できなかったトウモロコシを新たに栽培



#### ○被害軽減による増産

現在鳥獣被害を受けているほ場において、金網設置による被害防止（単収向上）



食害を受けるため作付けできなかったほ場での新たな生産や、単収の向上、高栄養粗飼料への転換を図ります。

### 2 飼料作物の作付面積拡大

※3,000㎡以上の拡大が条件

令和6年度から面積単価へ変更。さらに、二期作・二毛作の場合は単価を加算

拡充

#### ○裏作での作付面積拡大

水田裏作でのイタリアンライグラス栽培による飼料増産



#### ○冬作飼料面積の拡大

ローズグラスの更新に合わせたイタリアンライグラスの播種



作付けされていない夏作・冬作や水田裏作など、農地をフルに活用します。

### 3 高栄養粗飼料への転換

新規

作付面積が拡大しない場合も対象。さらに、収穫作業を委託する場合は、委託費も支援。

#### ○高栄養粗飼料への転換

既存のヒエからより栄養の高いトウモロコシへ転換。トウモロコシの収穫を飼料生産組織へ委託。



#### ○保管設備の整備

トウモロコシの増産に伴い、バンカーサイロを増設



同一面積から収穫する飼料作物の栄養分を増やします。

### 4 国産濃厚飼料増産対策

新規

飼料用米乾燥調製機械・保管施設導入を支援。子実用トウモロコシの実証に係る経費を支援。

#### ○飼料用米増産

地域の水稲農家から飼料用米を受け入れ、家畜に給与するため、自社で保管・粉すり・破碎。



#### ○子実用トウモロコシ増産

子実用トウモロコシの増産を図るため、排水対策に係る実証ほを設置



輸入飼料を国産に切り替え、輸入飼料の削減を図ります。

### 5 受託面積拡大への取組

令和6年度から広域活動の取組(飼料専用運搬車、簡易保管施設、飼料分析費用)も支援。

#### ○新たな受託組織による面積拡大

新たな受託組織を立ち上げ、WCS生産組織からの収穫作業委託により、地域の繁殖牛農場への供給を実現



#### ○広域活動の取組

新規

隣接市町村で新たに収穫作業を行い、受託面積を拡大。長距離運搬のために、飼料専用運搬車を導入。



飼料生産組織の育成・体制強化により、さらなる作業の外部化を図ります。